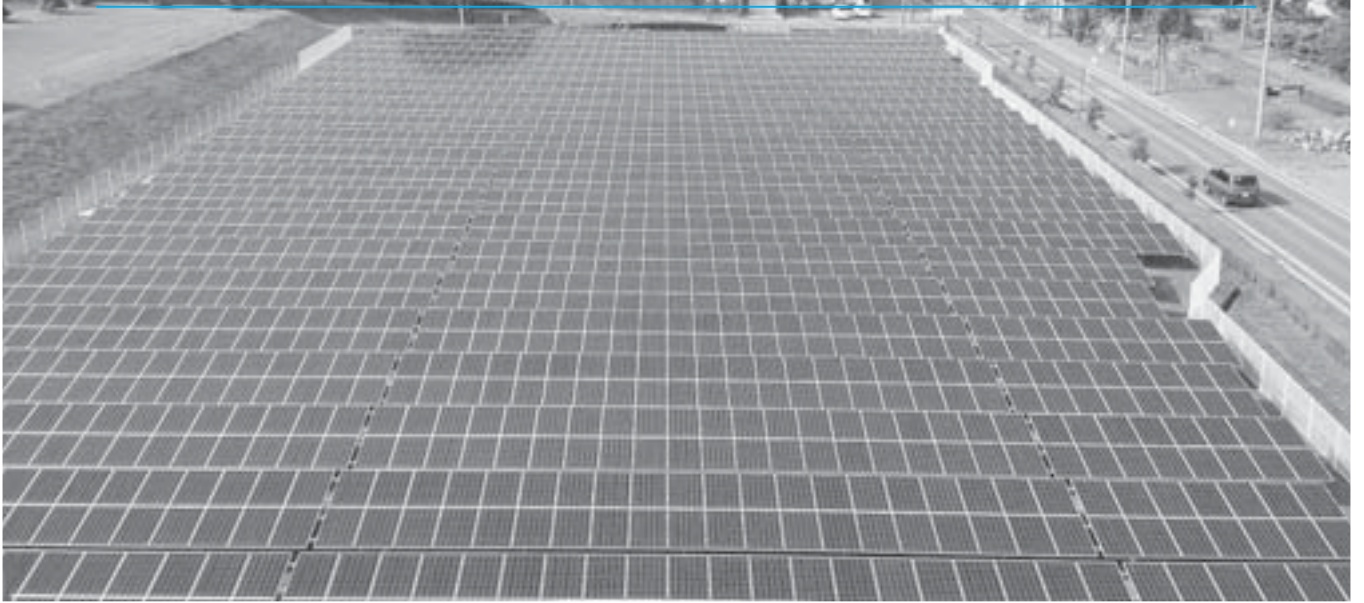


村有の太陽光発電所が誕生しました



榛東村白子の海ソーラーポートが発電を開始しました

八州高原に誘致したソフトバンク榛東ソーラーパークが発電を開始して1年が経過した7月1日、榛東村白子の海ソーラーポートの発電が開始となりました。これは村が行う発電事業で、株式会社白子榛名工場の用地（7,100㎡）をお借りし、太陽光パネルを2,338枚設置した発電所です。この発電の開始に先立ち、現地にて榛東村白子の海ソーラーポート運転開始式を執り行いました。式では、用地を提供いただいた株式会社白子様と施工業者であるシャープ株式会社ソーラー事業本部様へ阿久澤村長から感謝状が贈呈されました。

所在地	榛東村山子田2504-1
敷地面積	7,100㎡
出力規模	572.18kW
予想年間発電量	約60万 kWh/年
施工	シャープ株式会社
施工費	195,300,000円



スイッチオン！運転開始式の様子

この様子はTBSテレビなどで大きく取り上げられるなど、榛東村が行う復興支援策であり、榛東村自然エネルギーの推進に関する条例で規定する原発の代替エネルギーの普及推進に寄与する発電所として誕生しました。

村長は式辞で、村の財源確保にも通ずる施設でもあり、太陽の恵みを受用できる施設として長く村民と愛していきたいと語りました。

また、この榛東村白子の海ソーラーポートには、平常時は売電し、災害時等の停電時に非常用電源として利用できる危機管理太陽光発電所を併設しています。この施設も経済産業大臣の設備認定を受け

た発電所であり、自治体が太陽光で自立発電所を運営する初めての発電所と言われています。

いよいよ本村は、高い発電効率の太陽光発電事業をめざします。企業を対象としたメガソーラー技術講習会をこの6日(土)、7日(日)に開催し、併せて住民見学会を開催したところ、多数ご参加いただき太陽光発電への理解を深めていただきました。

詳細のわかるパンフレットは、毎戸配布をする予定となっております。今しばらくお待ちください。



発電の仕組みを紹介しました